

戸沢村地域公共交通会議

平成20年8月26日設置
平成21年3月24日連携計画策定

概要

当村は、人口の減少、高齢化・過疎化の進行、マイカー普及によるモータリゼーションの進展等により、路線バスは厳しい経営状況にある。高齢者等の交通手段を確保すると共に、財政的負担を軽減しなければ、持続可能な公共交通とはならない。そのため地域と連携し、交通空白地帯解消のための路線延長やフリー乗降など、利用しやすい運行体系の見直しを図ることで、サービスと利用率の向上、財政負担の軽減を目指す。そのために、小型車両の導入、デマンドバスの実証運行、施設整備等の事業を実施する。



山形県戸沢村

○デマンドバス・デマンドワゴンの運行

利用者の少ない日中の時間帯を中心に、デマンド運行を実施。やまなみロード線は、中型バスから車両を15人乗りのコミュニーターバスに変更し導入。定時路線バスとデマンドバスとして運行。いきいき百年の里線は、10人乗りのワゴンタイプを導入し、デマンドワゴンとして運行。ともに、利用効率を高めると共に、費用の抑制を図る。

○デマンド用予約センター施設整備

発着の基点となる古口駅及び隣接する戸沢観光タクシーの事務所に、予約センターを設置し、デマンドの需要に対応する。また、定期券・乗車券などの販売もあわせて行なうことにより、利用者の利便性を高める。

○利用促進策の実施

デマンド運行にあわせ、交通空白地帯の路線を延長する。初年度は、猪ノ鼻・上台地区、津谷集落内、名高～神田間の路線を延長し、小型化した車両により運行する。次年度以降、岩清水・金打坊・出舟地区の路線を延長し、利用者の増加を図る。

定時路線バスはフリー降車を、デマンドバス(ワゴン含む)はフリー乗降を実施し、利用者の利便性を確保する。

3ヶ月以上の定期券について、割引制度を設け、利用者の負担を軽減する。

